



アオサギ



ヒツジグサ



三渡川（松阪市）から西方を望む


ハクセン
シオマネキ


カワラナデシコ



温泉法改正に伴う温泉成分再分析のお知らせ

事業団は「温泉成分分析」ができる分析機関（三重県知事登録）です!!

温泉は、「保養」「療養」「癒し」の場として親しまれておりますが、このような温泉資源の保護や、温泉成分の情報提供の強化を目的として、温泉法改正により平成19年10月20日から温泉成分の定期的な分析が義務付けられました。

この改正法では、「温泉成分分析（以下「成分分析」という。）」の実施が集中しないよう、暫定期間が設けられていますが、概ね10年ごとに成分分析を実施する必要があります。（※）

また、成分分析の結果につきましては、温泉の成分等（温泉名、温泉の泉質、温泉の温度、温泉の成分、温泉の成分の分析年月日）、禁忌症（入浴や飲用が禁止されている症状・疾患）、及び入浴又は飲用上の注意事項を掲示

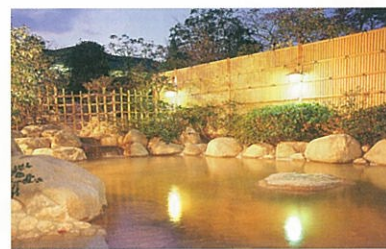
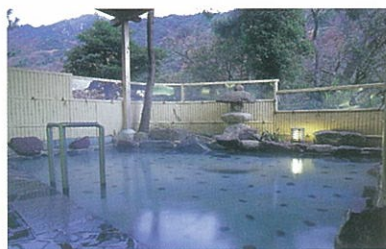
することが義務付けられています。

関係者におかれましては、今回の法改正を契機に、温泉の効用を改めてアピールするとともに、温泉好きの日本人の癒しの場を末長く、ご提供していただくことを願っています。

なお、温泉法において成分分析が実施できる機関は、都道府県知事の登録を受けた機関に限られております。

詳細な仕様内容につきましては、下記にお問い合わせ下さい。

（※）最初の成分分析実施日が平成12年1月1日以前の温泉については、分析期限が平成21年12月31日までとなり、平成12年1月2日以降の温泉については、分析実施日から起算して10年を経過する日までとなります。



マネジメントシステム認証機関の認定のご報告

マネジメント規格の第三者認証制度に関する見直しが継続的に行われていますが、マネジメントシステム認証機関に対する要求事項を規定した国際規格 ISO/IEC 17021（これまでの ISO/IEC Guide 62（品質）、ISO/IEC Guide 66（環境）を統合）が、2006年9月（JIS Q 17021:2007は2007年7月）に発行され、これまで以上に事業者の本来の業務に視点をおいた認証サービスを提供することになりました。

これに伴い、従来の品質、環境のマネジメントシステム審査登録を行う機関は、2008年9月14日までに ISO/IEC 17021 へ移行する必要があります。ISC は、我が国ではじめてマネジメントシ



テム認証機関（認定番号：CM022）として、JAB（財団法人日本適合性認定協会）から2007年12月25日付で認定され、移行を完了しました。

JABによる認定により、ISCでは新しいJAB認定シンボルの使用が可能となりました。登録事業者は、新しいJAB認定シンボルへの切り替えを2011年9月14日までに変更していただく必要があります。

なお、JAB認定シンボルの使用についての詳細は、下記にお問い合わせ下さい。

また、ISCは今後も引続き、適正な認証業務を遂行するために認証機関及び審査要員の力量の確保に取り組むとともに、公正性及び透明性を確保した認証機関として活動していきますので、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先 国際規格審査登録センター（ISC）
tel 059-245-7514 fax 059-245-7524



火災・地震に備えて

廃棄物処理センターでは、溶融施設で焼却灰などを処理しており、燃料に灯油を使用していることから施設全体が消防法における危険物一般取扱所となっています。このような施設における火災・漏洩などの事故は、地域に与える影響も大きく、安全性の確保は極めて重要であります。

センターでは、日頃から危険物などの安全管理を図り、事故の未然防止に努めているところでありますが、万が一にも事故が発生した場合でも、被害を最小限に防ぐための教育・訓練を実施しています。

また、三重県は、過去に大きな地震に見舞われ、そして今また東海地震・東南海地震・南海地震の大規模地震の発生の確率が高まりつつあります。

そのようなことから火災や地震に備えて、消防訓練等を実施しています。

平成19年6月29日

消防訓練（四日市市南消防署と合同で実施）

訓練参加：消防署隊員22名

自衛消防隊員 48名

平成19年10月10日

救急研修会応急手当「普通救命講習」

講師：四日市市南消防署救急救命士、

普通救命講習修了証取得者 18名

平成20年3月11日～3月14日

初期消防活動訓練

訓練参加者：自衛消防隊員 33名

平成20年4月25日

救急研修（AED導入による取扱説明）

受講者：28名



消防訓練（四日市市南消防署との合同）



普通救命講習会の実習

お問い合わせ先 廃棄物管理部 溶融施設課（廃棄物処理センター） tel 059-328-8650 fax 059-328-8652

食の安心・安全を確保するために

昨今、「食の安心・安全」に対する消費者の不安が急速に高まっています。

特に、輸入食物における残留農薬や無登録農薬の使用が大きな社会問題になっています。

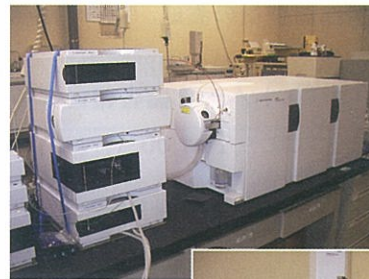
このような中、平成 18 年 5 月 29 日に食品衛生法が改正され、残留農薬等の基準値を新たに定めた「ポジティブリスト制度」が施行されています。

この制度は、約 800 種類の農薬や動物医薬品などに基準値を設定することで、食品中の残留農薬を規制強化するものです。加工食品を含む全ての食品が規制の対象となり、基準値を超えた食品の販売等は原則禁止とされています。

事業団では、このポジティブリスト制度に対応するため、最先端の分析技術及び装置を駆使し、「Top Quality」を目指したサービスをご提案しています。

また、残留農薬の「多成分一斉分析」につきましてもご提案させていただきます。（*）

詳細な内容につきましては、下記にお問い合わせ下さい。



LC/MS/MS装置



GC/MS装置

（*）多成分一斉分析とは、検査対象物（輸入食品、野菜、果実等）に使用される可能性のある多成分の農薬をターゲットとして、一斉分析を実施する方法です。そのため、安価で迅速な測定結果をご提供できます。なお、事業団の多成分一斉分析の成分数は食品の種類及び検査目的に応じて、70 ～ 320 成分をご提案しております。

お問い合わせ先 調査部 環境分析課 フリーダイヤル 0120-0592-02 tel 059-245-7508



ササユリ 松阪市内で大矢職員撮影

ササユリは、葉がササに似ていて、夏、茎の先に淡紅色の清純な感じの花を二、三つけます。

百合はリン茎が幾重にも重なっていることからさていまず。一般にヤマユリといわれていますが、ヤマユリは本州の北中部・関東に多く関西方面ではササユリが多く生育しています。

栽培は困難です。やはり野において観賞するのが最高です。

万葉集にはゆりを詠んだ歌が十首あります。

葛山博次著
「万葉集の植物」より

「道のはとりの草深百合の花の咲くように、ちょっとほほえみかけただけで、妻であるといふべきでしょうか。そんなことは、ございますまい。」求婚をことわった女性の歌のようです。

万葉集に「ゆり・さゆり・さゆる」とあるものはすべて同じもので、「さ」は接頭語とも五月のこととも解釈されています。

道の辺の草深百合の花咲に

咲みしがからに 妻というべし

古歌集（巻七の一二五七）

万葉人の
愛した草木

その十五



平成20年度 ISO 研修参加者募集!!

ISO14001/ISO9001 内部監査員養成セミナー〈2日間コース〉

対 象 新しい内部監査員の養成、ISO コンサルタントを目指す方 等

内 容 規格要求事項の解説、内部監査の説明、内部監査の場面を想定したケーススタディ
(チェックリスト、内部監査報告書等の作成等)

開催月日 時間は、9:00～17:00

開催場所 財団法人 三重県環境保全事業団
河芸社屋会議室

ISO14001 内部監査員養成セミナー

平成20年 7月17日(木)・18日(金)	平成20年 8月21日(木)・22日(金)
平成20年10月23日(木)・24日(金)	平成20年11月20日(木)・21日(金)
平成21年 1月22日(木)・23日(金)	平成21年 2月19日(木)・20日(金)

定 員 30名

参加費 お一人様 42,000円
(昼食付き、消費税含む)

ISO9001 内部監査員養成セミナー

平成20年12月11日(木)・12日(金)	平成21年 3月12日(木)・13日(金)
-----------------------	-----------------------

ISO14001 専門能力の継続的開発セミナー

対 象 ISO14001 審査員補、審査員、主任審査員、ISO14001 内部監査員のレベルアップを目指す方 等

内 容 ISO14001 規格、ISO19011 規格のポイント、環境法規制の最新情報、ケーススタディ

開催年月日 平成20年8月1日(金) 9:00～17:00

参加費 お一人様 28,000円
(昼食付き、消費税含む)

開催場所 財団法人 三重県環境保全事業団
河芸社屋会議室

定 員 30名

お問い合わせ先 調査部環境調査課 ISO 研修担当
tel 059-245-7503 fax 059-245-7519

新人紹介



環境分析課水道チーム
橋本 真 技師

4月1日付で入社し環境分析課水道チームに配属されました。
趣味は、何気ない日常生活をブログに残していくことです。前職とは全く違う業種なので戸惑いを覚えますが、精一杯頑張っています。何卒よろしくお願いします。



環境分析課水道チーム
羽田 珠世 技師

この春大学院を卒業しました。水道チームに配属になり、今は主に金属分析をしています。
趣味は、旅行と映画、音楽、ミュージカル鑑賞です。意識を高め努力を惜しまず一生懸命頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

AED

AED(自動体外式除細動器)は、電源を入れると音声で操作が指示され、救助者がそれに従って 疾病者の心臓に電気ショックを与える救命装置です。

事業団でもこの装置を導入し、緊急の場合、来客者や職員がAEDを使用して処置を行うことができるよう三カ所に設置しました。

設置場所

- ① 総務部総務課
- ② 三田最終処分場(2階 事務室)
- ③ 廃棄物処理センター(3階 中央制御室前)



■河芸社屋

〒510-0304 三重県津市河芸町上野 3258 番地
tel 059-245-7505 (代表) fax 059-245-7515
フリーダイヤル ☎ 0120-0592-03
ホームページ <http://www.mec.or.jp>

■廃棄物処理センター(溶融処理事業)

〒512-1102 四日市市小山町字西北野 3234-1
tel 059-328-8650 (代表) fax 059-328-8652

■三田最終処分場(埋立処分事業)

〒510-0841 四日市市三田町 9 番地の地先
tel 059-349-5016 (代表) fax 059-346-6500

■小山リサイクルセンター(破碎処理)

〒512-1102 四日市市小山町字大犬谷 3258
tel 059-328-2567 (代表) fax 059-328-2967

●事業団へのご意見・ご希望または「みえか」のご感想をお寄せ下さい。e-mail: mec@mec.or.jp